

病虫害発生予察 3月月報

(生育概況及び病虫害の調査結果)

3月の気象表(長野地方気象台)

官 署	平均気温 ℃			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長 野	本年	5.0	4.8	5.9	27.0	17.5	33.0	51.3	60.9	50.5
	平年	2.1	3.9	5.3	16.1	18.3	25.0	53.0	56.1	59.4
松 本	本年	4.9	4.9	6.5	52.0	30.0	7.5	54.6	66.1	61.0
	平年	2.3	4.0	5.4	21.7	22.8	35.2	60.0	61.6	63.4
諏 訪	本年	4.2	4.0	5.7	39.0	21.0	8.0	60.2	68.4	68.0
	平年	1.8	3.4	4.9	24.1	27.0	39.1	62.2	63.8	65.4
軽井沢	本年	1.4	1.5	2.7	44.0	22.5	11.0	53.9	73.8	75.5
	平年	-1.1	0.5	1.8	17.3	19.7	30.9	59.3	62.5	64.2
飯 田	本年	6.4	5.3	7.8	35.0	25.0	24.0	52.5	57.2	62.9
	平年	4.0	5.6	7.1	37.5	41.2	57.9	58.4	60.2	60.2

3月の天候の特徴

天気は数日の周期で高気圧と低気圧が交互に通過したが、中旬を中心に高気圧に覆われた日が多くなった。気温は中旬と下旬は一時的に寒気の南下した時期があったが、平年より高いかかなり高くなった。降水量は北部と中部では平年並か多く、南部では平年より少なくなった。日照時間は平年並か少なくなった。

1 麦

(1) 生育概況

大麦、小麦ともに概ね適期に播種が行われ、出芽も良好であり、その後も少雨傾向であったため、湿害等の影響もなく生育は旺盛であった。農業試験場調査では越冬前の草丈は平年に比べ30~40%長く、茎数は平年に比べ50~80%多かった。越冬後の生育も降雪が少なく、平年に比べ高温で推移したため、生育は進んでいる。農業試験場調査では、大麦(ファイバースノウ)は、平年に比べて茎数は20%程度多く、葉数も多く、幼穂形成期は平年に比べて12日早く、茎立期は18日早かった。小麦(シラネコムギ)では、平年に比べ茎数は60%程度多く、葉数も多く、幼穂形成期も平年より15日早く、茎立期は20日早かった。

第1表 麦の生育状況(須坂市:農業試験場作物部)

品種名	区分	茎数	草丈	葉数	幼穂形成期	茎立期
ファイバースノウ (大麦)	平年	940	12.8	6.3	3/14	4/8
	前年	436	10.4	4.6	3/23	4/6
	本年	1135	17.3	9.3	3/2	3/21
シラネコムギ (小麦)	平年	992	14.6	6.6	3/23	4/11
	前年	514	11.2	5.4	3/30	4/11
	本年	1632	25.6	8.9	3/8	3/22

<耕種概要>播種期:大麦・小麦 2018年10月22日

注) 平年値は過去7ヵ年における最大値と最小値を除いた5ヵ年の平均値、本年の茎数(本/m²)、草丈、葉数は3月15日調査

(2) 病虫害の発生状況

1) 小麦の土壤伝染性ウイルス病(コムギ縞萎縮病・麦類萎縮病)

生産現場では耐病性品種への変更や大麦への転換等が行われているため、発生は目立たなくなっているが、罹病性品種作付けほ場の一部で発病が確認されている。

2 りんご

(1) 生育概況

ふじの発芽は平年より3日早かったが、展葉は4月15日現在確認されていない。

第1表 りんごの生育状況(須坂市:果樹試験場 4月15日現在)

品種名	区分	発芽	展葉	開花	満開	落花
ふじ	平年	3/31	4/13	4/28	5/2	5/8
	前年	3/28	4/3	4/20	4/24	4/29
	本年	3/28				

平年値は1981年から2010年の平均値

(2) 病虫害の発生状況

1) うどんこ病

第一次伝染源である“ぼけ芽”(発病枝率)は、前年より少ないが一部地域ではみられている。

第1表 うどんこ病の罹病枝率%

	2018年	2019年
東信	1.6	0.1
南信	0	0
中信	0	0.2
北信	3.1	1.6

2) リンゴハダニ

リンゴハダニの越冬卵は、南信の1ほ場で多くみられた他は、平年並み～越冬卵が確認できないほ場が多かった。前年に引き続き発生は少ない傾向であった。

第3表 リンゴハダニの越冬卵数(卵数/短果枝)

地方	調査ほ場数	本年	平年	前年	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年
				2018年					
東信	4	0.2	1.9	0.2	0	0	0.6	3.3	7.8
南信	5	3.4	2.0	0	0.5	3.4	2.5	6.0	0.7
中信	6	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0.1
北信	16	0	0.5	1.9	0.4	0.2	0.3	0.0	0

平年は2010～2018年の平均値

越冬卵数の計算方法は、以下の基準、計算方法より算出

越冬卵数程度別基準

無：0個、少：1～25個、中：26～50個、多：51～75個、甚：76個以上

1短果枝当りの越冬卵数 =

(13(少の短果枝数) + 38(中の短果枝数) + 63(多の短果枝数) + 88(甚の短果枝数)) / 調査短果枝数

3 なし

(1) 生育概況

発芽は平年と比べ平年並み～2日遅かった。

鱗片脱落期は平年並み(平年より1日早い～1日遅い)となった。

第1表 なしの生育状況(高森町：南信農業試験場 4月15日現在)

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期			落花期	鱗片脱落期
				始	盛	終		
二十世紀	平年	4/2	4/16	4/19	4/22	4/26	4/29	4/10
	前年	3/29	4/6	4/11	4/14	4/20	4/23	4/5
	本年	4/2						4/11
幸水	平年	4/4	4/19	4/21	4/24	4/28	5/2	4/10
	前年	3/30	4/12	4/14	4/17	4/21	4/25	4/5
	本年	4/4						4/9
豊水	平年	3/31	4/14	4/18	4/21	4/25	4/29	4/8
	前年	3/28	4/5	4/11	4/14	4/18	4/22	4/3
	本年	4/2						4/9

平年値は、1991年から2010年まで(20年間)の平均。

(2) 病害虫の発生状況

1) 黒星病

4月第2半旬にナシ黒星病菌の子のう胞子の飛散が確認された。

第2表 4月のナシ黒星病菌子のう胞子の補足数の推移(高森町：南信農業試験場)

年度	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
平年	11	200	812	1,867	6,053	2,948
2017年	0	11	3	233	1	653
前年	0	656	1,793	6,291	30,181	5,656
本年	0	1	5			

平年は過去10年の平均値

2) ハダニ類

巡回調査ほで越冬卵は認められなかった。

第3表 巡回調査ほ場1短果枝当たりハダニ類の越冬卵数(個)

区分	二十世紀				幸水				
	飯島町	中川村	飯田市	松川町	高森町	豊丘村	下條村	松川町	塩尻市
平年	0.7	0.5	2.6	0.3	0.1	0	-	0.0	0.1
前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平年値は2010～2018年の平均値 越冬卵数の算出方法はリンゴのリンゴハダニ調査方法を参照

4 もも

(1) 生育概況

発芽は平年と比べると1～4日早かった。開花は4月15日現在確認されていない。

第1表 ももの生育状況(須坂市：果樹試験場 4月15日現在)

品種名	区分	発芽	展葉	開花	満開	落花
白鳳	平年	3/30	4/22	4/20	4/24	5/2
	前年	3/27	4/12	4/10	4/18	4/26
	本年	3/28				
川中島白桃	平年	3/30	4/22	4/20	4/24	5/3
	前年	3/29	4/14	4/12	4/18	4/26
	本年	3/26				
秀峰	平年	3/28	4/21	4/17	4/22	4/30
	前年	3/27	4/11	4/6	4/15	4/22
	本年	3/27				

平年値は1981年から2010年の平均値。「秀峰」は2008年から、「白鳳」は2009年から、「川中島白桃」は2019年から調査樹更新。

5 野菜

(1) 生育概況

降雪量が少なく、気温が高めに推移したため、ほ場の準備や定植作業は平年に比べて早くなったところが多かった。

(2) 病害虫の発生状況

1) 果菜類の病害虫

きゅうり(施設・半促成)でうどんこ病の発生がみられるところがあった。

2) アブラナ科野菜のコナガ

フェロモントラップ調査では、塩尻市宗賀(県予察ほ)で3月第6半旬に、朝日村古見(地区発生予察ほ)で3月第5半旬に初誘殺された。小諸市山浦(県予察ほ)では誘殺されなかった。

第1表 フェロモントラップによるコナガ成虫誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	3・1	3・2	3・3	3・4	3・5	3・6
塩尻市宗賀(野菜花き試験場)	0	0	0	0	0	1
小諸市山浦(同 佐久支場)	-	-	-	-	0	0
朝日村古見(病害虫防除所)	0	0	0	0	1	0

3) レタスのナモグリバエ

野菜花き試験場佐久支場(小諸市)における黄色粘着トラップによる調査では、昨年同様3月第6半旬に1頭誘殺された。

4) たまねぎの病害虫

巡回調査では、病害虫の発生はみられなかった。

5) その他のフェロモントラップ誘殺状況

県発生予察ほ(塩尻市宗賀及び小諸市山浦)における調査ではオオタバコガの誘殺はみられなかった。また、塩尻市宗賀で3月第1半旬にカブラヤガ、3月第4半旬にタマナギンウワバの誘殺が確認されたが、これらは昨年より早い時期であった。